

NY ホームテキスタイルショー 2004 秋

NEW YORK HOME TEXTILES SHOW 2004 Fall

参加報告書

会 期:2004年10月8日(金)~11日(月)

開催場所:米国・ニューヨーク市
(ジャコブ K.シャピッツコンベンションセンター)

四国タオル工業組合

目次

1 見本市の概要	1
2 展示会の準備状況	1
3 「Japan Towel」ブースの概要	2
4 ベスト・ニュープロダクト・アワードの受賞	4
5 商談の全体概況	5
6 総評と今後の課題	8
7 むすび	9
8 出展企業及びアテンド	11
9 フロアプラン	12
10 「Japan Towel」ブースのレイアウト	13
11 米国市場調査	14

【資料】

新聞記事

今後アメリカでのビジネス展開を目指す方へ(本レポートはジェットロより提供)

1 展示見本市の概要

- (1)名 称:NY ホームテキスタイルショー 2004 秋
NEW YORK HOME TEXTILES SHOW 2004 FALL
- (2)会 期:2004年10月8日(金)~11日(月) 4日間
am9:30~pm5:30(11日はpm4:00)
- (3)会 場:米国・ニューヨーク市
ジャコブ K.ジャビッツ コンベンションセンター(ホール 1A・1B)
Jacob K. Javits Convention Center (34th St. & 11th Ave., New York, NY 10010)
- (4)主 催 者:George Little Management LLC(GLM)
URL www.nyhometextiles.com/
- (5)展示会規模:出展者 300 社(参加国 25ヶ国)
- (6)主な参加国:アメリカ、イタリア、香港、中国、イスラエル、トルコ、カナダ、インド、台湾、
日本、パキスタン、フィリピン、ポルトガル etc
(このうち、パピリオンはブラジル、インド、香港/マカオ、日本、中国)
- (7)入 場 者 数:6,400 人(主催者発表)

2 展示会の準備状況

(1)国内での出品物発送に向けた準備

NY ホームテキスタイルショー2004 秋に出品する商品のリスト(品名、組成、サイズ、目方、数量)と(財)日本タオル検査協会発行の国内生産証明書(タオル及びタオル地縫製品に限る)を9月24日までに提出を求め、四国タオル工業組合では次の作業を行った。

- 9月25~28日 インボイス・パッキングリストの作成
- 9月28日 四国タオル工業組合 荷物集合
- 9月29日 アメリカ合衆国向け繊維製品の輸出証明(VISA)取得
- 9月30日 出品物 松山市南吉田町2731 松山空港貨物ターミナル内 日本通運(株)松山航空支店 国際貨物 宛発送 TEL089-971-5235 FAX089-971-5310
- 10月1日 通関
- 10月3日 成田空港発 UA800 便にてアメリカ(到着地:JFK 国際空港)に向けて発送

(2) 会場での展示会に向けた準備

前回、マーカー(マジックペン)が原因で米国の通関が遅れた展示品の荷物については、今回はとくに問題もなく通関を終え、10月7日(木)の早い時点で日通の手配により会場に搬入された。



既に前日から NY 入りしていた七福タオルは、午前中から準備に入り、残りの出展者については、午後一から飾り付けとなった。

1社、持参していた展示用補助具が不調で、ディスプレイが心配されたが、他の会場内出展業者からの一時借り上げで、特に大きな支障もなく、午後4時過ぎには、ほぼ全体の準備作業を終了した。

出展者バッジについても、基本的にはセキュリティ強化のため各自が主催者側の受付(Reception)に行き、予め登録していた

バッジを受け取ったが、この点についても大きな問題はなかった。

一方、毎回入賞を果たしている「ベスト・ニュープロダクト・アワード」は、全社が申し込みを行い、同会場に用意された display コーナーに、商品の陳列を行った。

なお、本番に向けてのミーティングは初日朝9時から行ったが、この中で森理事長より、この NY ホームテキスタイルショーはこれで5回連続の出展であり、組合としての取り組みは一応最後となるが、対外的には一定の成果を求められるので、今回もある程度の結果を出せるようがんばってほしいと求める。

3 「Japan Towel」ブースの概要

出展者7社の商業ブース(6小間)とジェットロブース(1小間)は、次のように構成。

【商業ブース】

3×3.3m 5小間

3×3.6m 1小間

【ジェットロブース】

3×3.3m 1小間



正面中央(B1入り口)から入って2列目に、展示エリア1000と1100に背中合わせの形で、左サイドに4社(3小間)、右サイドに2社(2小間)およびジェットロブース(1小間)、また展示

エリア 1100 の通路を挟んで反対側に 1 社(1 小間)の計 7 小間(配置図は 13P 参照)を Japan ブースとし、四国・今治のタオルをアピールした。

今回、出展した商品は、ベビー用商品の他、水回り、ベッド回り、インテリア雑貨、リビングなど、各社独特の染めや織り、素材、加工方法などを用いた特長のあるオリジナル商品約 150 点で、これらの商品を各ブースに展示飾り付けし、日本の洗練されたデザインとハイクオリティーを前面に打ち出し商談に当たった。

なお、各社ごとの出展商品の主なものは以下のとおり。

ブース	出展企業	出展商品
1021 1023	森商事(株)	バスタオル、ハンドタオル、クッション、ハンドバッグ、シューズ etc
	城南織物(株)	バスタオル、ハンドタオル、ウォッシュクロス、タオルケット etc
	吉井タオル(株)	バスタオル、ハンドタオル、ウォッシュクロス etc
1025	(株)第一織物	ベッドスプレッド、シーツ、ピロカバー、バスタオル etc
1122	近藤繊維工業(株)	フード付バスタオル、ハンドタオル、巾着、トートバッグ etc
1123	池内タオル(株)	バスタオル、ハンドタオル、ウォッシュクロス、バスローブ etc
1124	七福タオル(株)	バスタオル、ハンドタオル、ウォッシュクロス、クッション etc

4 ベスト・ニュープロダクト・アワードの受賞

2002 春の池内タオル(株)の受賞、また四国タオル工業組合として初出展した2002 秋にホームアパレルとバスソフト部門で(有)オルネットと(株)オリムが揃ってグランプリを受賞し、小泉首相の国会施政方針演説などでも取り上げられ大きな話題を呼んだベスト・ニュープロダクト・アワードは、今回も前回の七福タオル(株)に続き、バス部門で、城南織物(株)の商品(商品名:Mou Cube「モウ・キューブ」)がグランプリに選ばれた。



また、今回は森商事(株)の経緯両方に伸び縮みする商品(商品名:Fruits「フルーツ」)がバス部門で、池内タオルの竹繊維(バンブー)を使ったバズローブ(商品名:KIKKO「キッコ」)がホームアパレル部門で、それぞれファイナリストに残った。

【グランプリ】

バス部門 城南織物(株)

タオル製品

商品名:Mou Cube(モウ・キューブ)

アイテム:バスタオル、ハンドタオル、ウォッシュクロス

特長:蜂巣織の技術を使い、可能な限り粗くソフトに織ることで、
通気性・吸水性・速乾性を持たせたタオル

【ファイナリスト】

バス部門 森商事(株)

タオル製品

商品名:Fruits(フルーツ)

アイテム:バスタオル、ハンドタオル、ウォッシュクロス

【ファイナリスト】

ホームアパレル部門 池内タオル(株)

タオル製品

商品名:KIKKO(キッコ)

アイテム:バズローブ

このベスト・ニュープロダクト・アワードは、本見本市の主催者(GLM社)が主催して業界大手企業並びに業界誌(LDB Interior Textiles, Home Fashion & Furniture Trends, HFN)の編集長・編集員らが審査して ベッド(Bed) バス(Bath) キッチン/テーブル(Kitchen/Table) ホームアクセサリ(Home Accessories) ホームアパレル(Home Apparel)の5部門で、それぞれにまず3点入賞を決め、その中からさらに1点最優秀賞を決定するもので、同アワードではこの部門別の他に、見本市全体でベストショー(Best of Show)が1社に与えられた。

なお、今回グランプリに選ばれた企業および国は以下のとおりである。

ベストショー (Best of Show)	Descamps	米国
ベッド (Bed)	Cuddledown	米国
バス (Bath)	Johnan Orimono Co., Ltd.	日本
キッチン/テーブル (Kitchen/Table)	W Decor	米国
ホームアクセサリ (Home Accessories)	Worldwide Improt & Exporot	ブラジル
ホームアパレル (Home Apparel)	Honiya Renown America, Inc.	米国

【受賞歴】

	2002 春	2002 秋	2003 春	2003 秋	2004 春	2004 秋
グランプリ	池内タオル㈱ (バスソフト)	㈱オリム (バスソフト) (有)オルネット (ホームアパレル)			七福タオル㈱ (バス)	城南織物㈱ (バス)
ファイナリスト		池内タオル㈱ (バスソフト)	城南織物㈱ (バスソフト)	(有)オルネット (バス)		森商事㈱ (バス) 池内タオル㈱ (ホームアパレル)

()内は、部門

5 商談の全体概況



イラク戦争の影響を余り感じさせない堅調な動きを見せている米国経済が背景にあってか、初日から比較的大勢のバイヤーが訪れ、期間中 6,400 人(主催者発表)が来場した。

ただ、全体的に本見本市は縮小傾向にあり、入場者数の減少に伴って出展者数も漸減している。他の展示会(EX・TRACTS - 香料・石鹸、SURTEX - テキスタイルデザイン、Gourmet - グルメ関係、etc)を併催しないと来場者の確保が難しい状況になっており、減少の歯止めはかかりそうもない。毎回 NY ホームテキスタイルショーの来場者は減っている感じである。

しかし、来場するバイヤーの中には NY でハイエンド商品を取り扱う「ABC カーペット&ホーム」やバス専門店のウォーターワークス、高級百貨店「ブルーミングデールズ」・「ニューマンマーカス」、「マーシャルフィールド」、「ノードストローム」、大衆百貨店の「JC ペニー」・「メーシーズ」などの大物バイヤーは毎回

来場しており、ジャパンプースでも積極的な商談が行われた。

なお、期間中における成約件数は過去 2 番目に多い 50 件であったが、金額は過去最高の\$44,741 を記録した。

最終的な商談結果は、要求のあったところへのサンプル出しや価格提示、また引き合いのあったところへのアプローチなど、今後煮詰めていかなければならないため、1~2 ヶ月待たなければならないが、大手専門店やホテルチェーン店などからの引き合いもあるので、これらが成約に至れば、成果はさらに大きいものになるであろう。



来場者の状況は、初日(8日)はスタートの日とあって、結構大物バイヤーが訪れた。2日目(9日)は初日ほどでもないが、午前中は土曜日にもかかわらず、時間帯によっては人が流れた。3日目(10日)は、日曜日とあってお客様の数も少なく、活気は今ひとつであった。最終日(11日)月曜日はコロンバスデーということで祝日であったにも拘らず、最終日ということもあってか、これまで Japan ブースに一度来訪してい

たバイヤーが再訪し、また見本集めの客などが訪れ、午後 2 時過ぎまでは活気があった。

「Japan Towel」ブースは、2 列目に位置していたが、位置的には中央入り口(B1)を真っ直ぐ下がった通路(展示エリア 1000)に面しているブースは、比較的人の流れは良かったように思われる(14P 参照)。各社それぞれ自社ブースにてアテンドし、アメリカのマネジメント会社と契約している近藤繊維工業(株)は当該社・MIRA Design がサポートについた。なお、森商事(株)と城南織物(株)、吉井タオル(株)の 3 社共同ブースについて双日(株)(旧 ニチメン)が代理店となって、商談に当たった。

ブース設営については、主催者が用意する装飾パッケージではなく、現地業者による独自の装飾で、十分なライティングに加え、オフホワイトのカーペットを敷くなど、明るく洗練されたイメージを演出し、加えて角のコーナーではライトを増やして明るい雰囲気作りを行った。さらにはテーブル等を駆使してアピールしたい商品を並べるなどバイヤーの目を引くようにした。

期間中はハイエンドのバス製品を取り扱う専門店やセレクトショップなどが Japan ブースを訪れ商談に臨んだ。大口の引き合いもあったが、成約に至るかどうかは今後に待たなければならない。なお 4 日間の商談状況は以下のとおりであった。

【全体の商談状況】

商談件数	362 件	
成約件数	50 件	金額 \$44,741(10 月 11 日現在)

成約見込 20 件
 代理店申込 18 件

【過去 5 回の展示会期間中の商談実績】

	2002 秋	2003 春	2003 秋	2004 春	2004 秋
商談件数	323 件(13 社)	137 件(9 社)	240 件(8 社)	415 件(8 社)	362 件(7 社)
成約件数	35 件	17 件	40 件	68 件	50 件
成約金額	\$24,000	\$18,776	\$43,500	\$21,028	\$44,741

()内 参加企業数

上記は4日間だけ(2003春は5月6日時点)の数字につき、最終の商談結果ではない。今後注文が出てくるので数字は常に流動的。

【ジャパンプースに訪れた主なバイヤー】

- (1)ABC カーペット&ホーム 高級バス・インテリア専門店
 (2)ウォーターワークス バスショップ

「ABC カーペット&ホーム」については、既に 2 社が取引を行っており、今回の展示会で新たな発注が期待される。

なお期間中、成約があった企業は 5 社で、その場で PO(注文書)にサインしたところは 50 件(金額にして\$44,741)ほどであったが、前述のとおり ABC カーペット&ホームや、大手家具店、ホテルチェーン店などからも引き合いがあるので、後日積極的にアプローチ、或いはアフターフォローをしていけば、まとまった成約が期待できる。

【各日ごとの状況】

初 日 : 10 月 8 日(金)9:30 ~ 17:30

開始直後は来場者が少なく心配されたが、午前 10 時半頃から序々に人出も増え、午後 3 時半頃までは人の流れがあった。また、当日はアメリカ三大テレビネットワークである CNN



が消費者向けに提供している番組に、城南織物(株)や森商事(株)の商品を紹介しようということで、キャスターによるインタビューや撮影などが午後からあり、加えてジェトロの広報用ビデオの撮影などもあって、ジャパンプースはその対応にも追われ、周辺は賑やかな雰囲気であった。商談については、実績のある近藤繊維工業(株)・池内タオル(株)・七福タオル(株)を中心に、ある程度の

まとまった成約があり、まずまず良好なスタートではなかったかと思われる。

なお、当日の主催者発表によると、主な来場者は次のとおりである。

ABCカーペット&ホーム、ブルーミングデールズ、ノードストローム、マーシャルフィールド.NY高島屋、etc

2日目:10月9日(土)9:30~17:30

2日目は、3連休の初日ということもあり、お客の入りは今ひとつであったが、それでも午前中は結構来客があった。しかし、午後からは客足も少なく、4時以降は殆んど、開店休業の状態であった。

なお、当日の主催者発表によると、主な来場者は次のとおりである。

ニューマンマーカス、JCペニー etc

3日目:10月10日(日)9:30~17:30

日曜日ということで来場が心配されたが、午後2時30分ぐらいまでは結構人も流れも多く、思ったより活気はあった。時間帯によってはお客が集中するときもあったが、午後3時過ぎからは低調であった。

なお、当日の主催者発表によると、主な来場者は次のとおりである。

リネンズ、メーシーズ、etc

最終日:10月11日(月)9:30~16:00

最終日の月曜日は、思ったよりも多く、特に午後2時過ぎまでは人の流れがあり、ジャパンプースも賑わった。最終日ということもあってか、事前に下見していたバイヤーが訪れ、或いは他の出展業者が見本集めにブースに立ち寄るなど活発な動きがあった。

なお、本最終日は午後4時で終了し、商品の片付けを開始した。併せて「ベスト・ニュープロダクト・アワード」に出品した商品の回収を行うとともに、国内配送や日本還送のための梱包を行い、還送の8カートン(当初の予定では9カートン)については、午後5時頃に日本通運アメリカ社への引渡しを行った。

なお、当日の主催者発表によると、主な来場者は次のとおりである。

ベッドバス&ビヨンド、センチュリー21、伊勢丹、ポルティコ、etc

6 総評と今後の課題

ジェットロ並びに今治市の多大のご支援を得て2002秋から今回の2004秋まで連続5回出展したNYホームテキスタイルショーは、組合としての取り組みは一応今回で最後ということになる。今回を含めて企業の取り組みをみると、この2年間で海外市場開拓に向けて一定の基盤を築いたところ、或いはその足がかりを得たところ、逆に余り結果が出な



かったところなど、その落差は大きい。当然のことながら、このトレードショーにかける企業の姿勢にも温度差があった。

海外取引の成果を着実に伸ばしている企業は引き続き実績を重ね、海外市場開拓の一つのビジネスモデルになっていただきたいし、開拓の足がかりを掴んだところは、自社に見合った見本市への出展を通じてマーケット開拓をしていただきたい。また、余り成果を出なかったところはその原因をよく分析し、一層の奮起を期待したい。

米国市場で日本の製品を売り込む場合、そのマーケットはどうしてもニッチの分野になる。アメリカ市場にはカラータオルを主流に南米や南西アジア、EU などから大量の商品がしかも安く流入している。このため、バイヤーは市場にないもの、何か変わったもの、何かキラリと光るものを求めて見本市などにやってくる。こうしたバイヤーの期待にこたえるためにも、独特の切り口で、企業のアイデンティティを前面に押し出すことが大きなファクターになる。今後、アメリカでのビジネスにチャレンジされる方のために、「今後アメリカでのビジネス展開を目指す方へ」を資料として添付しているので是非ご覧頂きたいが、アメリカにおいてビジネスの糸口をつかもうと思えば、次の点は絶対欠かせない。

日常の営業活動やフォローができる代理店を入れる、もしくは現地に拠点を構える
ストック及び SHIPPING PIN (配送) センターをアメリカ国内に持つ

7 むすび

NY ホームテキスタイルショーに四国タオル工業組合として出展したのは今回で5回目であるが、企業によってある程度数字が残せるところと、そうでないところの格差があり、いつも対照的である。これから続けていっても結果は同じであろう。もう一度原点に戻って、輸出戦略を見直す必要がある。もし、これからはアメリカ市場を開拓するのであれば、マーケティングリサーチをしっかりと行っただうえで、計画・戦略を立てる必要がある。またその他の市場を狙うのであれば、当該市場をよくリサーチして市場に受け入れられる商品開発を目指して地道な努力を重ねていく必要がある。



組合としての取り組みは、海外市場開拓を目指す企業の自立化の方向が見えてきたことから一応の区切りをつけることとするが、改めて組合員の皆様のご意見やご要望をお聴きしながら輸出戦略を練り直したいと考えている。

いずれにしても、組合員17社が参加した過去5回の出展を通じて

海外市場開拓のノウハウを取得できたこと

4 日間の成約金額は少ないながらも、下表に示すとおり後のフォローアップ調査では、いずれも大きな成約(過去 5 回で延べ 432 千ドル(日本円で 48 百万円))になっており、一定の成果を残すことが出来たこと

	2002 秋	2003 春	2003 秋	2004 春	2004 秋
見本市後の成果 (4 日間の成果)	39 件 \$59,800 (35 件\$24,000)	17 件 \$18,766 (16 件\$18,550)	55 件 \$155,700 (40 件\$43,500)	139 件\$152,723 (68 件\$21,028)	(50 件\$44,741)

ベスト・ニュープロダクト・アワードで、4 社(単独出展を入れると 5 社)がグランプリを獲得し、日本の商品に対する評価が高まったこと、またこの受賞が国内でも小泉首相の施政方針演説の中で取り上げられ大きな反響を呼んだこと

などから、大きな成功であったといえる。

これも偏に、「地場産業等小規模展示事業」として 5 回連続して採択頂いたジェットロのご支援の賜であり、厚くお礼を申し上げたい。とりわけ主催者との事前交渉や連絡から会場設営・商品の輸送、現地での来訪者に対するアンケート調査や商談のフォローに至るまで、ありとあらゆる面でお世話いただいた NY センターおよび愛媛センターのスタッフの方々、さらに会場設営等において会場専属の業者との連絡調整やトラブル処理、展示会における各社の商談支援、ディスプレイ指導などに当たっていただいた MIRA Design の皆様に対し、厚く感謝の意を表したい。

8 出展企業及びアテンド

ブース	企業名	日本からの参加者	米国内からの参加者
1021 1023	森商事(株)	森 幸夫 山崎隆弘(双日(株))	
1021 1023	城南織物(株)	平尾浩一郎	
1021 1023	吉井タオル(株)	峯田節朗	
1025	(株)第一織物	高井憲治	
1120	四国タオル工業組合 & JETRO	宇高福則	
1122	近藤繊維工業(株)	アテンドなし	
1123	池内タオル(株)	池内計司	別所昭英
1124	七福タオル(株)	河北泰三	
	計 7 社 + 組合	8 名	1 名

11 米国市場調査

「NY ホームテキスタイルショー2004 秋」出展期間中、市場調査の機会があり、高級ファニシングの専門店として有名で、既に組合員企業 2 社が取引のある「ABC カーペット&ホーム」をはじめ、バス・ベッド専門店のほか、百貨店なども訪問したので、下記のとおりその結果を記す。今後の何らかの参考にしていただければ、幸いである。

ABC カーペット&ホーム

ABC Carpet & Home

Address: Broadway at 19th Street

Phone: 212-473-3000

URL: www.abchome.com/

高級ホームファニシングでNY一番館といわれる「ABC カーペット&ホーム」3F にバスリネコーナーがあり、取引関係のある池内タオル(株)と七福タオル(株)の商品が販売されていたが、特に池内タオル(株)のオーガニックタオルは、新しいスペースが確保されていた。なお、当該店はハイエンド商品が主体で、価格的にもハイレベルであった。



ベッドバス&ビヨンド

BED BATH & BEYOND

Address: 620 6th Avenue New York , NY 10011

Phone: 212-255-3550

URL: www.bedbathandbeyond.com/



総合生活雑貨の専門店で、日本でいう大型のホームセンターのようなところで、バス関連はカラータオルを天井近くまで積み上げ、比較的安価な商品がかなりのスペースを確保して販売されていた。

9.99 ドルのメイドイン・USA のカラータオルを中心に、高くてもインド製やポルトガル製の無地カラーが 16.99 ドル、ジャガードが 12.99 ~ 14.99 ドルのレンジで、大量消費のアメリカ向けのお店と言える。

グラシラス ホーム

GRACIOUS HOME

Address: 1992 Broadway at 67th Street
New York, NY 10023

Phone: 212-231-7800

URL: www.gracioushome.com/

インテリア・生活雑貨の専門店で、バス関連の売り場面積もベッドバス&ビヨンドほどではないが、かなり広くとっており、中規模のホームセンターと言える。商品も ABC カーペット&ホームとベッドバス&ビヨンドの中間的なところで、メイドイン・USA のほか、ブラジル製やポルトガル製、イタリア製などが 15~40 ドルのレンジで販売されていた。



ポタリー・バーン

POTTERY BARN

Address: 1965 Broadway at 67th Street
New York, NY 10023

Phone: 212-579-8477

URL: www.potterybarn.com/



リネンの専門店で、売り場面積はそう広くはなく、商品もハイエンドとはいえないが、比較的グレードは高い。24 ドルのトルコ製を中心に販売されていた。

ブルーミングデールズ

Bloomingsdale s

Address: 1000 3rd Ave New York , NY 10022

Tel: 212-705-2098

URL: www.bloomingdales.com/



バスコーナーは相当広いスペースをとっており、カラーを中心に展開されていたが、カルバンクラインやダナキャランなどのライセンス商品も多く、いずれもカラー展開が主体であった。価格的には安いものと高いものが混在する感じであった。

コンランショップ

Conran Shop

Address: 407 East 59th Street between First and York Avenue
New York, NY 10022

Tel: 212-755-9079

URL: www.conran.com/

バスコーナーも結構広く、どちらかという
とレベルの高い商品群であった。ブラジ
ル製(\$30)やポルトガル製(\$32)、イタリ
ア製(\$19)、カナダ製(\$32)、ポルトガル
製(\$20)、イギリス製(\$18)など、多国籍
の商品群を展開していた。



メーシーズ

Macy's

Address: 151 West 34th Street New York, NY 10001

Tel: 212-695-4400

URL: www.macys.com/



リーズナブルな価格が目立った。

かなり、広いスペースに無地カラーを中心とした商品が展開されており、アメリカ製の無地カラーが安いもので 7.99\$から、高いもので 15.00\$まで、インド製の無地カラーで 7.99\$、ラルフローレンの無地が 12.99\$(アメリカ製)から、ジャカード物で 19.99\$(インド製)、パキスタン製の無地カラーで 7.99\$、アメリカ製のジャカードで 17.00\$と、大体一般向けが目立った。特別安いもので 5.99\$という無地カラー(アメリカ製)のものもあったが、大衆百貨店と知られるメーシーズだけにリ